



東日本大震災に関する学習を実施しました

平成23年（2011）年に3月11日に発生した東日本大震災は、各地に地震や津波、そして原子力災害等の大きな爪痕を残しました。発生から14年目を迎え、本県はこれまで多くの皆様にご支援をいただきながら復興と創生に取り組んでいるところです。そのような中、防災教育をとおして災害に対する防災意識を高めさせ、被災地に対する復興の思いを養うこと、並びに環境教育をとおしてSDGsに対する意識の高揚を図ることを目的に、7月17日（水）に双葉郡内の福島県東日本大震災・原子力災害伝承館及び震災遺構である請戸小学校、いわき市のアクアマリンふくしま水族館を訪問し、震災学習を実施しました。生徒は3つの縦割り班に分かれて活動し、地震や津波発生当時の状況と対応などの見学をとおして、大震災の脅威を肌で感じ取ることができたと思います。また、全国からの支援を受けて復旧・復興した水族館の様子も観ることができました。

この体験をとおして、地震や津波への備えの必要性、また、未曾有の大震災から力強く復興・創生してきた本県の現状についても学ぶことができました。生徒の皆さんには、訪問して感じたことや考えたことを周りの方々にもぜひ伝えてほしいと思います。



津波が原子力発電所に到着した瞬間の映像

津波への対応と被災した請戸小学校の状況

震災から復興したアクアマリンふくしま

《感じたこと、考えたこと》 1年 國分友歌さん

震災によってあたりまえの日々が失われ、津波によりあたりまえにあった人々の命が一瞬で失われてしまい、改めて地震とは恐ろしいなと思いました。もう二度とこんな悲劇を繰り返さないために、自分ができることを考えていきたいです。また、請戸小学校では、津波で建物がありえないほど壊されてしまい、津波の恐ろしさを痛感させられました。当時小学生だった子どもたちは、近くの山に逃げて全員無事だったそうです。先生方の判断は正しかったのだなと思いました。



- 夏休み中、学校で使用しているタブレット端末（iPad）の持ち帰りを行います。1・2年生にはスタディ・サプリ等の宿題がありますが、3年生にも受験勉強の一環として活用してもらえたらと思います。保護者の皆様には、機器の管理をよろしくお願いします。
- 夏休み中は、開校日に限り1階の被服室を生徒に開放します。涼しい環境で学習に励んでほしいと思います。開放時間は、午前9時から午後4時までとします。安全・安心で充実した夏休みをお過ごしください。